

第1回甲賀市議会 議会報告会  
(市民のみなさんとの意見交換会)

# 報告書

平成27年1月  
甲賀市議会

## 報告書目次

1. はじめに .....	1
2. 報告会概要 .....	2
3. 質疑応答、意見など .....	3
4. アンケート結果 .....	1 3
5. 各会場の写真 .....	2 1

## 1. はじめに

議会基本条例に基づく第1回議会報告会（市民の皆さまとの意見交換会）を11月13日・14日・15日に市内中学校区6会場で開催しました。

市民の皆さまに日頃の議会の活動状況を知っていただくとともに、ご意見やご提言を直接伺い、議会審議への活用や議会運営の改善を図り、市民に開かれた議会をめざすために実施するもので、延べ120人の参加をいただきました。

班編成については、議長を除き3班を編成し、各班2会場を担当しました。今回の報告会は、9月議会で審議した平成25年度決算審査報告をはじめ、各常任委員会（総務・民生・文教・産業建設）での審査内容の説明や経過報告、各特別委員会（議会改革推進・庁舎整備・信楽高原鐵道対策）の活動報告を行った後、先ず報告内容について質疑を受けました。

その後、意見交換として議会運営や市政全般など様々な意見・提言をいただきました。

今後はテーマを絞り、専門用語ではなく、わかりやすい報告内容に努める必要があります。

さらに、開始時間や所要時間についてもおおむね好評価を頂きましたが、どの会場も参加者が少なく、より一層ご参加いただける工夫が必要と感じました。

報告会でいただいたご意見・ご質問、アンケート等につきましては、取りまとめて議会ホームページで報告いたしますと共に、議会として検討をし、反映できるように取り組んでまいります。

## 2. 議会報告会概要

(1) 主催：甲賀市議会

(2) 開催日時、会場（市内各中学校区）、班編成（1名欠席・議長は除く）、参加者

日時	会場	班	班員	参加人数
平成26年 11月13日（木） 19:00～21:00	岩上公民館	1	◎谷永、○片山、竹村、 田中將、橋本恒、山岡、 白坂、服部	11
	甲南庁舎大会議室	2	◎加藤、○田中実、竹若、 小河、山中、小西、森嶋、 森田、土山	21
平成26年 11月14日（金） 19:00～21:00	水口社会福祉センター	2	◎加藤、○田中実、竹若、 小河、山中、小西、森嶋、 森田、土山	38
	信楽開発センター	3	◎安井、○林田、戎脇、 田中新、鶴飼、辻、中西、 橋本律	16
平成26年 11月15日（土） 19:00～21:00	かふか生涯学習館	1	◎谷永、○片山、竹村、 田中將、橋本恒、山岡、 白坂、服部	15
	土山開発センター	3	◎安井、○林田、戎脇、 田中新、鶴飼、辻、中西、 橋本律	19

(3) 報告会内容

- ① 議会の基本的な事項・議会改革の報告
- ② 決算特別委員会審査報告
- ③ 総務・民生・文教・産業建設常任委員会の9月議会審査報告
- ④ 庁舎整備・信楽高原鐵道対策特別委員会の報告
- ⑤ 報告に対する質疑・応答
- ⑥ 議会・市政全般に対する意見交換

(4) 議会報告会班長会議メンバー

谷永兼二・安井直明・加藤和孝・片山 修・田中 実・林田久充

### 3. 質疑応答、意見など

**Q1** 以前、甲南庁舎を第2庁舎にしようかという意見があったが、扱いをどうされるか。

**A** 甲南庁舎の利活用の方向性については、教育部局、上下水道部局が本庁に移転してから、甲南地域にある市の出先機関などを集約するとともに、市内の公共団体の意向も確認しながら、事務のスペースや市民開放スペースに活用していこうという方向です。

**Q2** 学校の耐震については終わっていると思っていたが、今の報告のなかで耐震があったが、ほとんど終わっているのではないか。来年の計画は。

**A** 小中学校の耐震化率ですが、平成26年4月現在で96.7%であり、もう100%になります。ただ、体育館などのつり天井や照明器具などの非構造部材の耐震化が遅れています。体育館は住民の避難場所にもなりますので、今年度から工事に着工しています。

**Q3** 信楽中央病院にかかわってきたが中々うまくいかなかった。信楽中央病院は常時赤字で、執行部と協議しないと健全化が難しい。その辺りを議会の委員会でどの程度執行部に言われているか。

**A** 信楽中央病院の議論の中心のひとつはきちんと医師を確保し続けること、ドクターが確保されなかったら患者も心配して来られません。今までは自治医大でお願いしていて、そのルートは大丈夫ですが、それ以外のルートでは、医師がすぐに違うところに行かれるということがあり、安定的に医師を確保することが、議会の委員会の中での議論のひとつです。もうひとつは、信楽の中で他の病院に転医する患者をどう確保するかが課題です。そのために眼科やリハビリの部分を整えることによって患者を定着させる努力をしており、今後、どのような効果があるのかは見ていく必要があります。

もうひとつの課題は公的資金を入れないと経営できないというのが実態ですが、できるだけ公的資金を少なくしながら経営の安定を図っていくことが中心となります。

**Q4** 議会基本条例が施行されて最高規範となっているが、旧来の規則等との整合性はどうか。

今までの既存のいろんな規則があるが、今設定された条例と照らしあわせて整合性があるというのならば、変えていくのか、しないのか。整合性を求めないというのであればしなくてもよいのでは。

**A** 策定までに26回の議論を重ねました。例規や申し合わせとも整合性を図って策定しています。

議会には古い規則はすべて大事なことであるので存続して変えていくつもりはありません。ただ、会議規則など時代に合わない部分は改正していますが、議会運営上の根本となるものですので、自分たちの都合のいいように変えるということはありません。

**Q5** 教育について、市と県の派遣講師の手当てが全然違う。県が高くて市は安い、同じようにしなければならないのでは。その差額を教育後援会が補填されている部分もあるのではないかと。早く平等にしてほしい。

**A** 派遣講師の支給額の差について、委員会として議論おらず、今回は意見として承り、研究をしていきたいと思えます。

**Q6** 信楽高原鐵道が再開して喜ばしいと思うが、上下分離方式でこれから市に負担がかかってくると思われる。乗降客を増やす対策が言われているが、車の利便性は、新名神ができて信楽インターができた、宇治田原のほうにも2車線の道路改修ができた、神山から名阪にも良い道ができています。そういったなかで、鉄道の乗降客を増やすというのは非常に難しい。信楽、勅旨、降りてからの足がない。そうした中で果たして電車の乗降客が増えるのか。何かイベントやれば増えるかもしれないが、それはしょっちゅうやっているわけにはいかない、そういったところの考え方を聞かせてほしい。

**A** 高原鐵道に対して利用増進を求めています。信楽高原鐵道利用促進協議会を中心に委員も増やしてこれからの利用促進について検討している段階です。JTBなどの旅行業者も企画会議に入れ、観光客の誘致などについて検討しており、特別委員会としても議論をしてきました。

**Q7** 10年前に5町が合併した。その時は均衡ある発展を合言葉に合併して、今日に至った。19年には都市計画、総合計画ができた。25年には総合計画後期計画ができた。そして今、都市計画の見直しで人選もされているところである。均衡ある発展ということから言えば、19年の都市計画では都心核と副都市核ということになっている。都市核は水口町、副都市核は4町。都市核は大きい商業施設や大きい医療などをやる、副都市核は日常的な市民生活ができる商業施設というふたつ。今日、10年たって、人口減少と高齢化が進むこの甲賀町はどのようにやっておられるか聞きたい。

**A** 実は高齢化率が特に進んでいるのが深川市場のまちなかであるという現象が起こっています。伴谷地域はルールがありませんが多くの企業があり、今や土山の人口よりも伴谷地域のほうが多いです。これは今後の甲賀町の周辺地域のまちづくりの参考にしなければなりません。民間団体で立ち上げていただいている名神名阪連絡道路も6月に全議員が参加し議員連盟を立ち上げました。期成同盟会とともに一日も早く完成を目指すとともに、経済効果も検証して、甲賀北工業団地計画構想も進めています。そういう中で、滋賀県東南部の開発により滋賀県全体、また、東近畿地方の活性化のためになると訴えており、甲賀町、甲賀市の重要性を訴えています。

**Q8** 10周年の式典が有ったが、合併したことをどういう形でまとめているのか。

**A** 議会や議員全体としてはまとめていませんが、議員個々に代表質問や一般質問を行っています。

**Q9** 信楽の参加人数が少ないのはどういうことでしょうか。私は、チラシを見て来ましたが、工夫をしたPRをしてほしい。せつかくの場であり、中味に知恵を出してほしい。

**A** PRの足らなかつたという反省はあります。また、地域の行事等の事情もあり、来年度以降考えていきます。報告会は年二回行う予定であり、議会と地域の距離をつめていかなければならないと思います。

**Q10** 岡山城の発掘報道がなされていますが、紫香楽宮跡は、国の史跡になっていると思います。合併以後、取り組みが縮小しているのではないのでしょうか。県、国の調査費をつけて、展示を考えてほしい。今まで積み上げてきた実績が薄くなるのではないかと心配しています。こういった質問に、議会としては、どう答えていただけるのでしょうか。

**A** 岡山城はH23年から発掘が始まり、市はH27年を目途に調査し、H28年度には、国の指定史跡を目指しています。

紫香楽宮跡については、整備検討計画までできています。これは、長期、中期、短期と三期に分けています。これを受け雲井自治振興会で議論されていますが、地元との調整が、まだできていないのが現状です。市へは会派要望もしていますが、文教常任委員会でも検討し、何らかの形で報告できるようにしたいと思います。

**Q11** 滋賀県の人口が減少局面に入った。甲賀市にも大きな変動があるのか。議会は、どういう風に取り組まれていますか。

**A** 進んだところでは、議会として議論しているところもあります。そういう議会になれるよう今後、行政に提案していきたいと考えます。

**Q12** 民生委員ですが、市営住宅の入居審査において身寄りがなく、保証人が得られず、入居を断念するという残念な結果がありました。議会で条例を変えたら良いと思います。本当に困っている人の問題を検討してほしい。必要なら民生委員と議員の懇談会も良いのではないのでしょうか。回答していただく必要はありません。

また、病院への救急の時に付き添いのいない方には民生委員が付き添う事がありますが、緊急手術の同意などの問題が起こっています。現実問題として、困っている方がおられます。そういう方を支援する対応が必要と思います。その他、災害の要支援台帳整備が実行に移されていません。

**A** 民生委員さんと民生常任委員会の話し合いの機会を持てるよう努力します。



**Q13** 信楽高原鐵道の復興について感謝しています。特別委員会として課題を掲げていただいているが、再開後の運営について、どんな支援や方法があるのか検討してほしい。質問と言うよりお願いします。

**Q14** 信楽高原鐵道復旧工事請負金額が3129万円増額変更とあり、より安全性を高めるための請負ということであるが、どの程度の安全性を確保するために増額したのか。

**A** 線路沿いの落石危険箇所等のための補正であると認識しています。

**Q15** 甲賀市の財政健全化が図れているということでみなさんは賛成されているが、プライマリーバランスそのものが市の繁栄につながってくるのか。何もかも黒字化、経費節減ということで本当に安心安全の地域社会が作れるのか。そして、どの程度までプライマリーバランスを保っていけばいいのか、見解を聞きたい。

**A** 一般的にプライマリーバランスを黒字化することは当然のことだと思います。しかし、それだけでものごとが進むとはいえばそうではありません。地方自治体は何のためにあるのかが大事なことであります。そこに住む皆さんの暮らしと命を守る安心安全のまちづくりを進めていくことが基本になっています。

常に採算だけを考えていたら住民の皆さんの暮らしを守れないということが出てきますので、われわれ議員としては市民の皆さんから納めていただいた税金が適正に市民の皆さんの暮らしの役に立つ決算および予算になっているのかという視点でチェックをかけるのが議員の役割と思っています。

**Q16** 後期高齢者医療ですが、「市民の側に立った親切な対応を求めてきた」と書いてあるが、現状は、後期高齢者に対して本当に親切な対応ができたのかということを検証しているのか。

それに伴い特養（特別養護老人ホーム）の問題だが、特養の数はそこそこあるが、待機者がものすごく多い。

介護の優先度を等級別に審査して各施設に入ってもらっているということであるが、それでも少なくとも2年から5年待っている。それでも入れるかどうかわからない。特養の積極的な改善をお願いしたい。

**A** 75歳になれば後期高齢者医療保険制度に入り、その制度のもとで運用されています。医療を巡る問題が山積している中で、後期高齢者に対する問題が多いということから親切な医療をどう提供していくのかが議会で議論しましたが、紙面の都合で「市民の側に立った親切な対応を求めてきた」という文言になりました。

特養の問題ですが、市内の特養はどこも100人待ちという現実的な問題があります。

今、重複して申し込んでいる人の総数は大体1000人くらいいますが、名寄せすると大体500人くらいの方が入所待ちになっています。

この問題は来年から始まる第6期の介護保険事業計画の中で、「どうするのか」ということを民生常任委員会の中で議論しています。

安心して入れるようにするには施設を増やすということも議論しています。

**Q17** 水道管の耐用年数は38年と書いてあったが、今後の耐用年数、修理についてわかれば聞きたい。

公共施設の長寿命化というのがうたわれているが、現在、どの程度の長寿命化を図っているのか。甲賀市の長寿命化とはいったい何なのか、管理しない、直さない、放っておくというのが長寿命化なのか。

**A** 詳しい数字は申し上げられないが、老朽管はまだまだあり、敷設替えをしています。また、公共下水道工事と同時に補償工事として修繕を行っているところもあります。

送っている水と利用している水との間にロスがあり、老朽管により漏れているところもありますので、市では旧町別に漏水率を調べ順次敷設替えを行っています。

管の中にも塩ビ管などがあり、特に石綿管も一部残っていますので敷設替えを行っています。

合併後、同じような施設があり、高度経済成長期に一気に建てられ全体的に老朽化が進んでいます。統廃合も含めて新たに国のほうから計画を立てるよう示しがあり、市としてもその指針に基づき 28 年度に計画を作成します。

**Q18** 巖峨の橋（岩上橋）について、2 億円かかると書いてあるが、最低限の生活道路としても橋は必要であるのでお願いしたい。

**A** 岩上橋については、1 年以上通行止めで不便をかけています。補助金の申請をしながらどのような方法でできるか検討しています。

**Q19** 議会報告会が開催されることは結構なことである。今後とも継続してやって頂きたい。年 4 回の議会ごとにやってもらってもよいのではないか。

**A** 議会報告会は、当面は予算と決算の時期に開催する予定としています。貴重なご意見として今後の参考にさせていただきたいと思います。

**Q20** 新庁舎の特別委員会からの説明で、建設の予算が当初の 60 数億円が 70 数億円になるという話があったが、合併特例債であっても税金であるから、市の負担が少ないからという理由で新庁舎を建設することは納得できない。特別委員会で十分な議論をされたのか。

**A** 建設費が高騰することには特別委員会でも問題となりました。東日本大震災の復旧作業などの影響で作業者が足りないことや資材が値上がりしていることなどが理由で建設費が高騰しています。他の施設で間に合わせるといった意見もありましたが、設計変更で節約できるところは節約するというで進んでいます。貴重なご意見として十分お聞きさせていただきます。

**Q21** 信楽高原鐵道のことであるが、岩手県では鐵道からバスに変えようという意見もあったと聞く。甲賀市でも線路を舗装して高速道路にしてはどうかと思うが、そんな意見は出なかったのか。

**A** 甲賀市でもバスに変えたらどうかという意見もありました。国道307号は冬季には凍結するという問題がありますが、鐵道にはそのような障害が生じないということで、復旧に取り組んできました。署名活動など市民の運行再開への熱意で早期再開が実現します。

**Q22** 外からきた人が甲賀市のよいところを見て、また来てもらいお金を使ってもらう。このためには、案内看板を立てることも必要ではないかと思うが、甲賀市ではその取り組みがあまり見えない。市内を走っている何台かのコミュニティバスに東海道の宿場町であることなどを案内するラッピングをしたバスを走らすべきではないか。

**A** 観光振興の予算は総額で4,600万円ほどです。ラッピングバスを走らせていますが、一台80万円ほど掛かります。現在、長距離トラックの荷台の後ろにラッピングして走ってもらっていますが、10台で140万円ほど掛かっています。コストと効果を勘案し、ご提案のようなことも勉強させていただきます。

**Q23** 人口減少による過疎化対策ができていない。財政事情も悪化していく中で議員定数27人は多すぎるのではないか。

**A** 議員定数の問題については、議会改革推進特別委員会の中でも検討課題として挙がっており、どこで検討すべきかは別としても今後検討すべきものと考えています。人口減少の問題については、所管の委員会でも議論すべきと考えています。

**Q24** 議会で懲罰特別委員会が開催された。当事者の議員は懲罰に該当するようなことを本当に言ったのか。インターネットでも公開されていることで懲罰にかけるのはおかしいのではないか。

**A** 懲罰の問題は個人の見解も種々ある中で、特別委員会でのご案内の通りの結論となりました。貴重なご意見を賜ったということで、今後の参考としていきたいと思えます。

(参考) その他、区から要望を出しても市の回答が遅いように思うので、議員からも改善を要望してほしいなどの意見が出された。

**Q25** 信楽高原鉄道は、毎年赤字であった。運行再開は必要かも知れないが、また赤字になるのではないか。このことをどう考えているのか。これまでの発想を変え、補助金なしでも運営できるようでないといけないのではないか。

**A** 昨年は49万人の利用者があったが、利用者が少ないことで赤字となっていました。昨年、経営形態が上下分離方式となり140万円ほどの黒字となりましたが、その矢先に被害が発生しました。国や県の補助金もあるので、会社としての採算はあっています。特に、地元の利用促進を図っていくことが大切であることから、地元を中心に利用促進協議会を立ち上げて取り組んでおられ、観光協会や旅行会社などと協議しながらやっておられます。

**Q26** 議員定数27人で奇数となっている。どんな根拠でそうなっているのか。今後、議員定数をどうするのか。

**A** 議員定数については、定数30人のときに議会改革特別委員会で相当議論してきました。地域の状況、抱えている課題、他市の状況、議員一人あたりの人口などを勘案し、パブリックコメントや市民説明会で市民の皆さんの声もお聞きし、最終的に定数27人となったものです。今後、どうするかについては、議会改革推進特別委員会の中でも検討課題として挙がっており、どこで議論するかは別としても今後検討すべきものと考えています。

**Q27** 水口工業団地内の道路で、高校生が自転車でスピードを出して走ってくるので事故が起こる可能性のある危険な個所がある。補修が必要ではないか。

**A** その個所の問題については区長会長や区からも要望を聞いています。現在、市に要望しているところです。

**Q28** 新名神の甲南パーキングの利用者が少ないのではないか。パーキングから市内に出られるようにし、水口や信楽に観光に行けるようにする必要があるのではないか。

**A** 甲南パーキングの運営会社の話では利益が出ていると聞いています。パーキングから外に出られるようにも計画してもらっており、県、市、ネクスコなどと協議中とも聞いています。

**Q29** 甲賀市においても国保税、介護保険料、水道料金などの滞納があると聞いている。市町村によっては滞納額が多いところもあるようだが、本来は100%徴収されるべきである。徴収について改善されているところがあれば聞きたいし、議会としてどう評価しているのかも聞きたい。

**A** 国保は相互扶助の精神で成り立っているが、現実には滞納があります。民生常任委員会として、滞納について詳しいことを分析するように要望も出しており、数字の上では改善されてきていると理解しています。市民税なども甲賀市では他市よりもしっかり対応しており、滞納額は減ってきています。中には悪質な人もいますので、そういう人に対しては徹底して対応しています。

## 4. アンケート結果

参加者の皆さんのアンケート結果では、議会報告会の開催について、「よかった」が58%と、皆さんにプラス評価をいただきました。「ふつう」は39%でした。一方、「良くなかった」3%と、必ずしも評価に値しないご意見もいただく結果となりました。

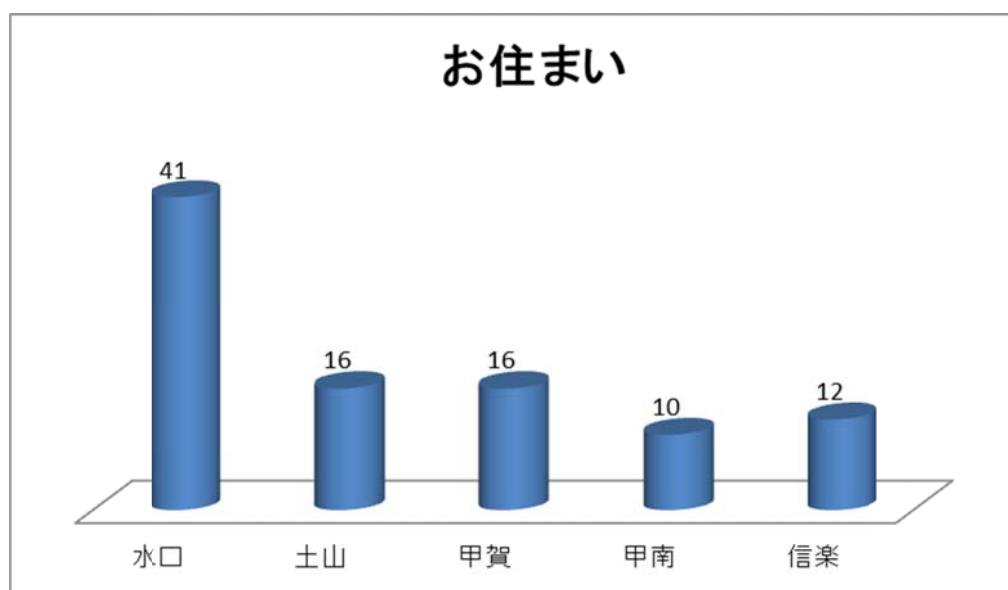
継続を求める意見も多くいただき、より市民に信頼され、身近な市議会となるよう、議会報告会を充実させ行く必要があると感じました。

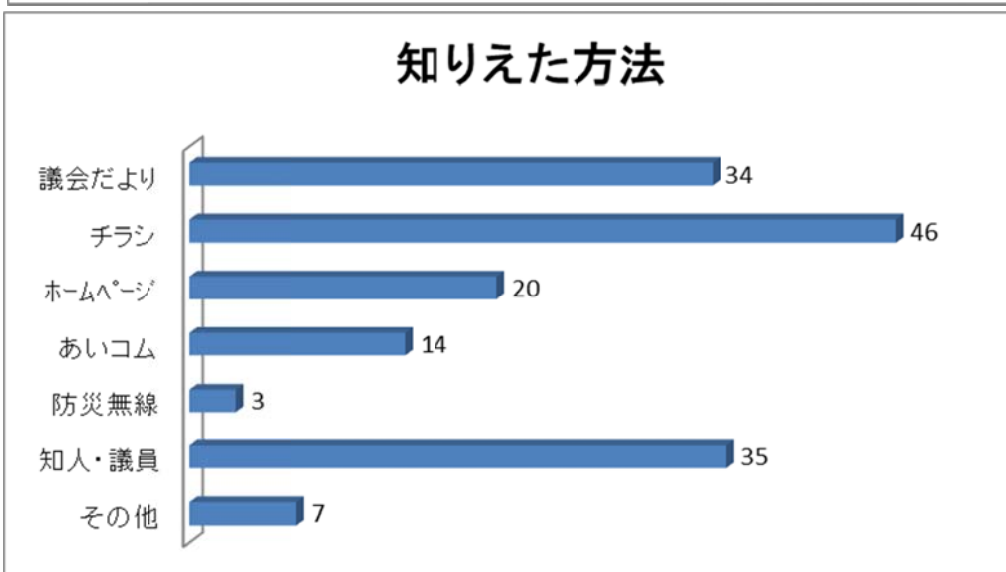
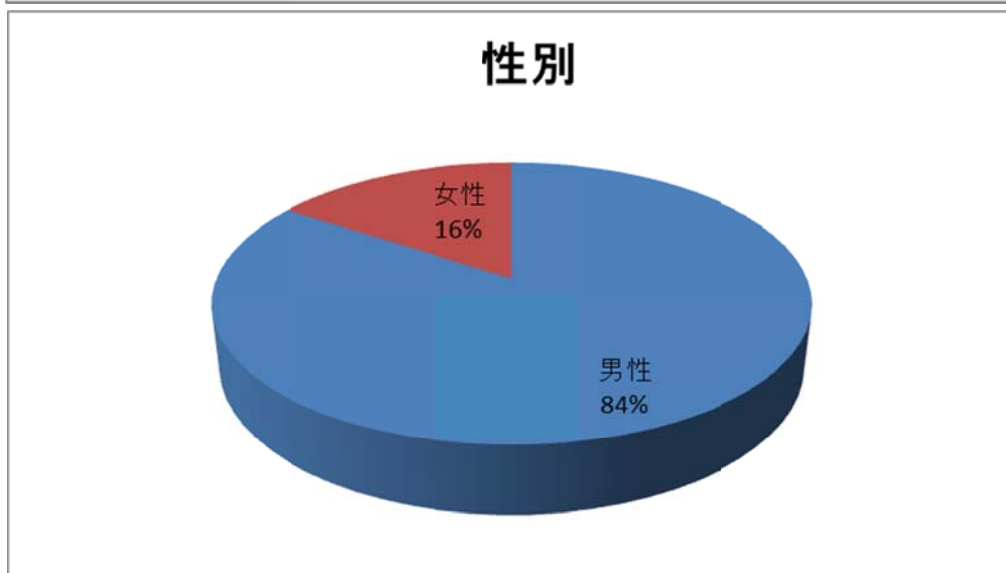
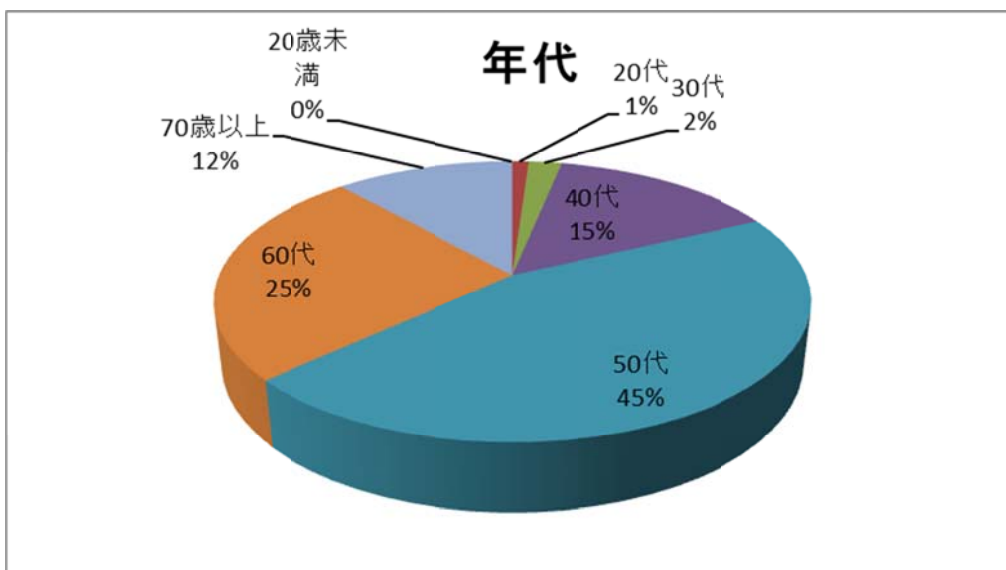
また、資料とスライドを用いて行った議会報告の内容については、「分かりやすい」が61%、「どちらでもない」が35%、「分かりにくい」が4%の結果でした。

運営や答弁を巡り、改善を求める様々なご意見も頂きました。

今後はテーマを絞り、専門用語ではなく、わかりやすい報告内容に努める必要があります。

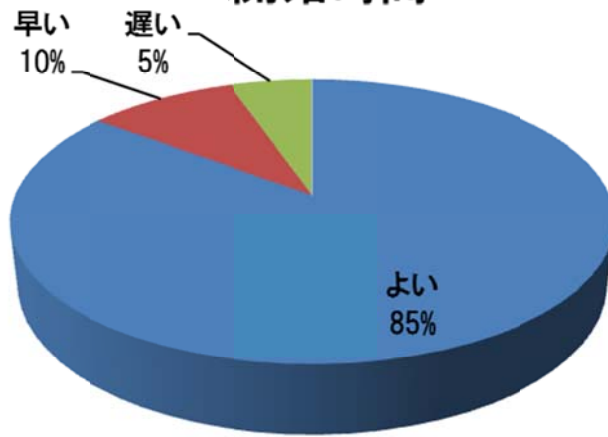
さらに、開始時間や所要時間についてもおおむね好評価を頂きましたが、どの会場も参加者が少なく、より一層ご参加いただける工夫が必要です。



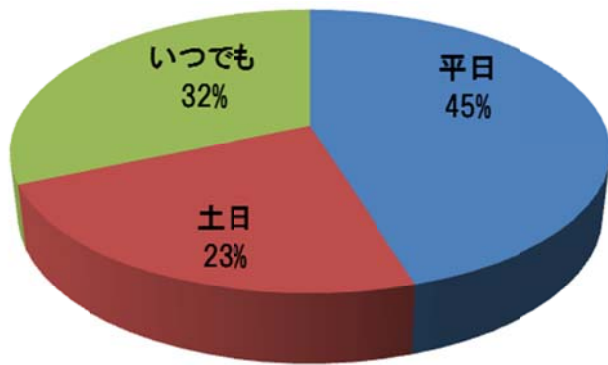




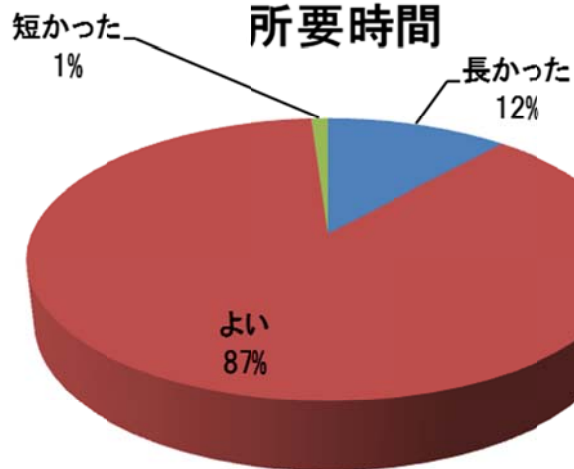
### 開始時間

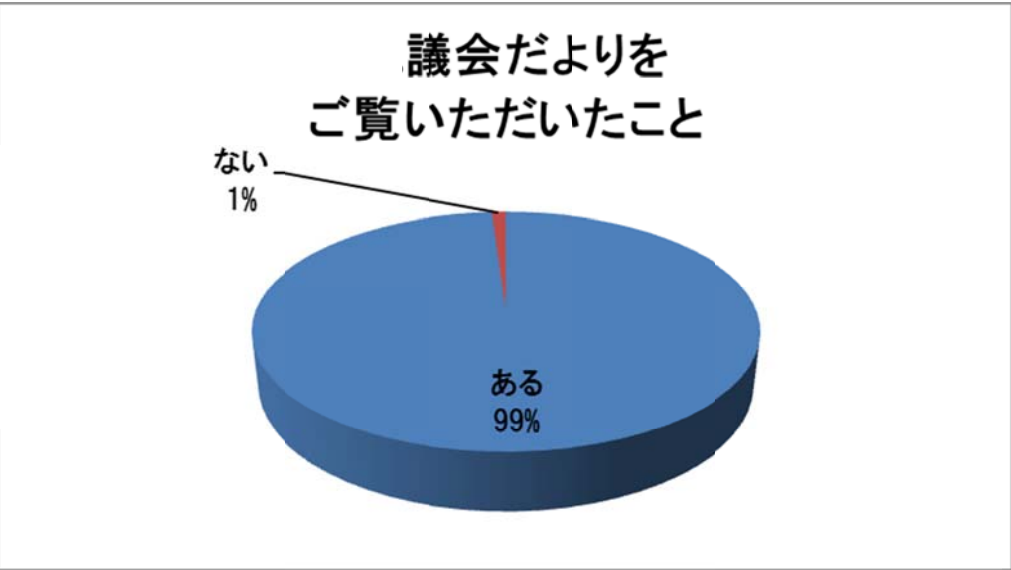
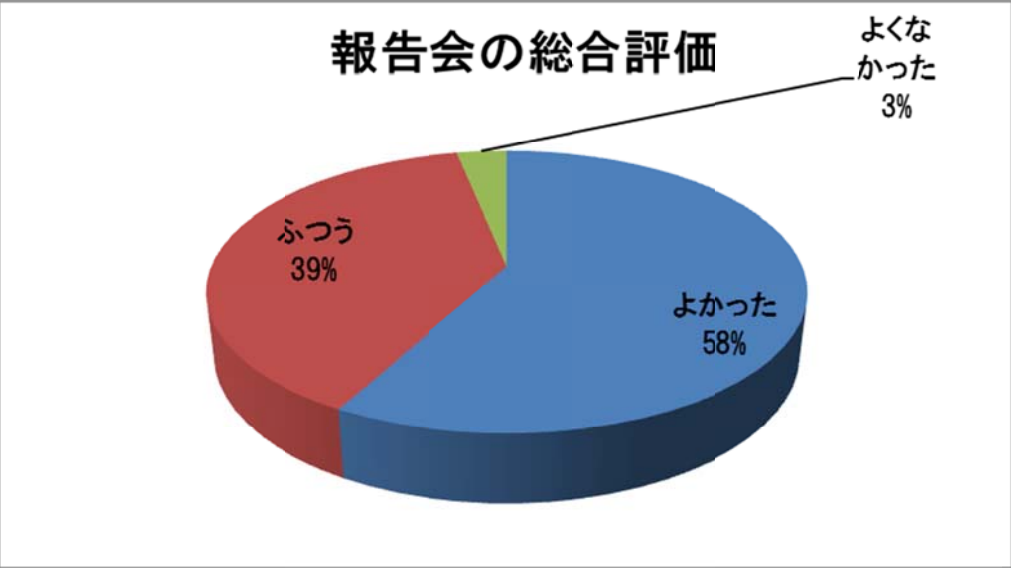
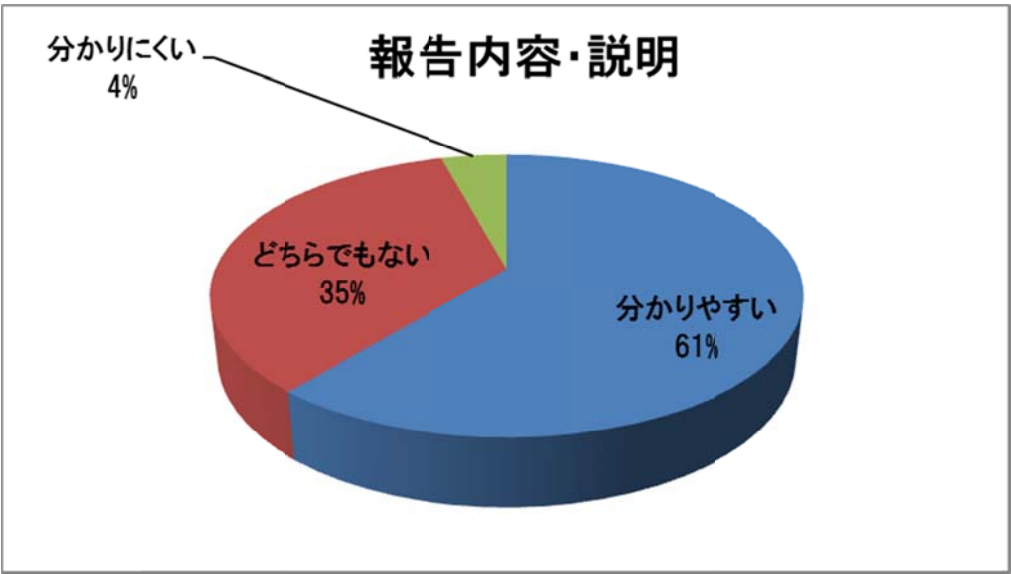


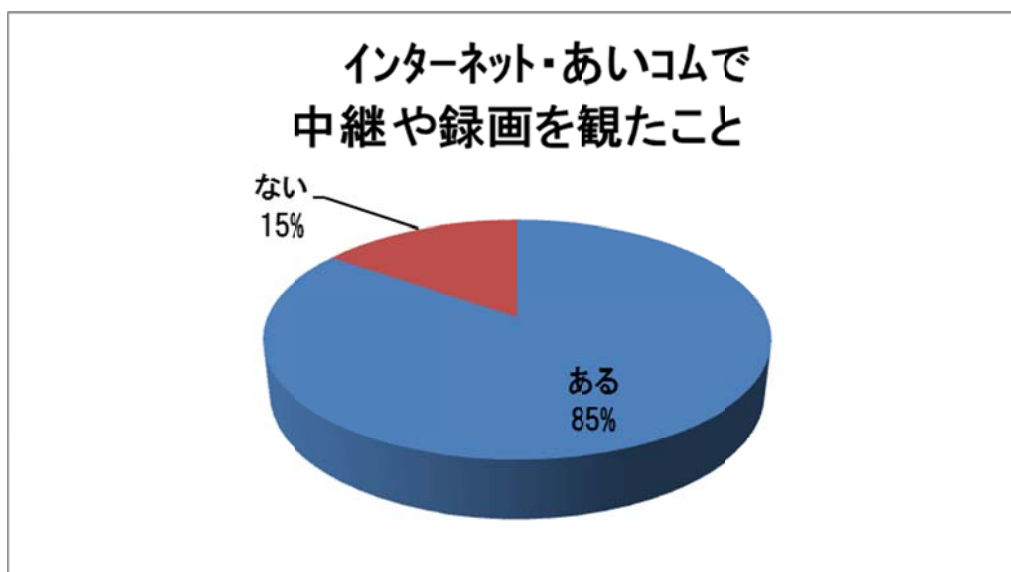
### 開催曜日



### 所要時間







## ○ご意見・ご要望・お気づきの点

- ・開催場所を検討してほしい。
- ・開催場所については、高齢者や障がい者に配慮した施設の選定をお願いします。
- ・議会報告会の開催周知が遅かったように思う。
- ・説明の中でやむを得ませんが、専門的用語が多く、内容が難しかったと感じた。
- ・より多くの市民が参加いただけるような対策の検討をいただきたい。
- ・決算における財政指標の説明については、専門用語が多いので一般市民には理解してもらいにくいと思う。
- ・内容が多すぎて、簡単な説明にとどまり、分かりにくい部分があった。
- ・お忙しい議員さんがこのように報告会をしていただき有難うございます。
- ・若い人が水口町に住んでよかったとだけ思っていたら、市の楽しいイベントや子どもや高齢者のためにも宜しくをお願いします。
- ・参加者個々の要望が多く出るかと思ったが、市民全体としての質問が多く、聞いていて納得できる良い意見交換であった。
- ・数字の単位が委員会ごとに違うので、万円で統一するほうが見やすいと思います。
- ・説明の時間が長く意見交換の時間が少なかった。
- ・各委員会の詳細な資料に基づき報告されたことはよかった。
- ・意見交換の時間が少ない。
- ・本会議での質問の延長のような論調、口調で、もう少し市民目線の語り口があってもよかったのではないのでしょうか。
- ・条例に記されているから行うのではなく、今後も充実したこのような会を開いてください。

- ・質問がかたよっている。ひとり1回という条件を付けたらどうか。広く意見を聞いてほしい。
- ・今後も開催してほしい。参加者が少ないのが残念です。
- ・これから回数を重ねて充実した報告会にしてください。
- ・時間の制約上、やむを得ないと思うが、説明が通り一遍である。このようなやり方ならば、かなり事前勉強をしておかねばならないと感じた。
- ・詳細に報告があり分かりやすかった。機会があれば報告会を続けてほしい。
- ・画面の特に写真が暗い。
- ・より多くの方々に議会報告会へ参加いただけるように今以上の広報の工夫が必要と考えます。
- ・1回目の報告会ということですが、参加者が思った以上に少なかった。より多くの市民に関心を高めてもらうためにも、半強制的にも動員をかけた方がよいのでは。
- ・こういった報告会が開催されるのは大変よいことだと思います。説明はもう少し短い方がよいのではないのでしょうか。
- ・大変かと思いますが、これからも継続して開催してほしいと思います。
- ・パワーポイントの字が全体的に小さく見えにくかった。
- ・もう少し小さいコミュニティーで対話型の開催もお願いしたいです。
- ・SKRに対してのご指導等を今後ともお願いしたい。
- ・参加者は少なかったものの初めての取り組みとして評価できると思います。
- ・パワーポイントが見にくかった。
- ・高齢者を考えると休日昼間も検討されてはどうですか。
- ・せっかくの報告会を開催いただきながら、一般参加者が少なかったことが残念です。
- ・PRの充実を。
- ・参加者が少ないのに驚いた。もっとやり方を考えないといけない。無駄だ。
- ・もっと参加される方が多くなるような広報が必要なのではないのでしょうか。
- ・分かり易くまとめられており、報告としては非常に良いものとなっていると思います。
- ・市民からの意見を述べていただくことに対する対応をどう扱うのかを事前にもっと周知しておくことも大切なのではないのでしょうか。
- ・内容が専門的であり、一般の方々には難しいかなと思いました。
- ・今後も続けることを望みます。
- ・議会基本条例を着実に行われていることを感じました。
- ・議会の基本的なことを説明していただき、身近に感じる事が出来ました。
- ・ていねいな説明で制度改正などが良くわかりました。
- ・初めて知ったこともたくさんありました。
- ・分かり易い言葉でよかったですと思いました。
- ・少ない出席者でしたが今後も続けられることを望みます。大変勉強になりました。
- ・議会報告会を初めて開催され、議会を身近に感じられた。
- ・本日の市民参加者数を見ても、市民は自治体経営に興味がないと言わざるを得ない。日常の子育てや仕事、介護などに追われる方にこそ興味を持っていただく必要があり、市民参加をしてもらえるような仕かけが必要。平和堂などの大型店で開催してはどうか。

- ・ 行政用語ではなく、市民に分かる言葉を使ってもらいたい。
- ・ 議会基本条例に基づく初めての報告会ではありますが、参加者が非常に少ないと感じました。議員各位からの参加呼びかけと、各委員会の報告等はいいコムこうかで映像での報告も有効と考えます。
- ・ 初めての開催ということで、非常に開かれた議会という良い会だと思います。ただ、一般市民の方が多く参加いただければ、更に素晴らしい報告会になるとおもいますので、来ていただきやすい工夫や広報があればと思います。
- ・ パワーポイントを使いながら、分かり易くまとまっていた。どんなことを協議されているかもよくわかった。
- ・ 報告会という取り組みは非常に良いことと思います。まだ最初なので出席も少なかったですが、今後も続けていただければと思います。
- ・ 意見交換という点では、今後テーマを絞って開催することで活発になり、参加者も増えるかもしれません。
- ・ 議員さん自らが準備や受付をされ、運営されているのはすごく好感が持てます。
- ・ 質疑の応答も適格だったと思う。
- ・ 限られた時間ではあるが、もう少し質疑内容を紹介してもよかったのではないかな。
- ・ 参加者が少なく残念でした。
- ・ 聞きなれない言葉が多く、特に決算などは分かりにくかったです。
- ・ 初めての試みで大変良かったと思います。インターネット放送もありますが、議員の方々の生の声を聞かせていただける場として、多くの市民の参加を得る方法を検討いただけたらと思います。
- ・ 次回も来ます。
- ・ 報告内容をもう少し分かり易く説明してほしい。専門用語で話されても理解しにくい。
- ・ 参加者は市職員が多く、もっと地域で実施するなど一般市民が参加できる工夫が必要と思う。
- ・ 説明時間が長いと思った。一括説明の後の質問では、内容が盛りだくさんのため、思い出せない。委員会ごとに質問時間をとられてはどうか。
- ・ マイクのボリュームが少し大きかった。
- ・ 報告会で意識を高める試みはよい方向だと思います。日常の議員の働きについてはあまり気にしていないところですので、意義のある参加だと思いました。
- ・ 地域での報告会だけでなく、対象を考えて（例えば学校、諸団体むけなど）工夫した内容を期待しています。
- ・ 市議会のしくみや議論された内容だけでなく、市の決算や問題点（庁舎、高原鉄道）等も詳しくご説明いただき、行政全体がよく見えました。
- ・ 地域を回って現状を知らせることは大切です。区長会と連携して一人でも多くの参加が得られるよう努めることが大切。説明地域の課題、対応策を提示いただき議論することが大切。

## ○市議会全般について意見等

- ・議員定数の削減は一見よいようですが、市民の声を訊くアンテナをしっかりと広げ、定数が減った分市民の考えを市政に反映するための、より一層の努力をお願いします。
- ・こうしたタウンミーティングはいいことです。もっと開催されて、市民の生の声をひろい、姿勢に反映していただきたいと思います。
- ・二元代表制と言いながら、市議会が発議して何かを始めるということが少ない。地域創世の支柱となるべく頑張ってもらいたい。
- ・各区の要望事項の早期解決にご協力願いたい。
- ・定数の削減をお願いします。
- ・一般質問で地域エゴ的な質問はやめてほしいです。
- ・議員さんももっと高原鐵道に乗って下さい。
- ・議会報告会の様子や常任委員会の様子などもあいコムこうかで放送されてはどうか。
- ・議員の方々が現場を市民の立場でもっと密着した活動をしてほしい。
- ・信楽中央病院は遠方の病院へ行けない年寄りには貴重な病院だ。
- ・より市民に近い議会へ。
- ・議決事項や結果でなく、甲賀市をこうしたいという夢について、議員諸君の意見を伺いたい。
- ・市民参加の手法として、他市では夜間議会、土日議会の取組もある。検討されてはどうか。
- ・魅力ある議会（優秀な若者や女性参加）を作るためには、議員報酬を上げることも検討されてはどうか。
- ・議会事務局の政策形成力の向上が必要。職員でなく、独自採用も検討されてはどうか。
- ・市議会本会議の様子は、市のHPから全国にリアルタイムに流れている。区長さんのな要望や差別を助長するような質疑はいかななものか？大局的な議論を大いに希望します。
- ・合併前に比べ、判断に迷うことが多いかと思います。非常に難しいことと思いますが、甲賀市を正しく導いていただきますようお願いいたします。
- ・議会での審議内容を分かり易く報告され、参考になりました。次回も参加したいと思います。
- ・投資効果について慎重に。

## 5. 各会場の写真



甲南庁舎



岩上公民館



信楽開発センター



水口社会福祉センター



土山開発センター



かふか生涯学習館